

令和元年度 職員提案応募用紙

受理番号 R1-27

標 題	職員備蓄の推進(勤務中の被災に備えて)	
提案を総括すべき課	人事課(防災課)	
	改善前	改善後
職員は自宅における非常食等を備蓄しているところだが、勤務中に被災した場合、直ちに災害対応に当たる必要があり、対応も長期間に及ぶことも考えられる。 防災備蓄倉庫には、職員分の非常食も備蓄されているが、避難者を優先にする必要があるとともに、各本部従事職員への供給ができないことも想定できる。	→	すべての職員が、2～3日分の非常食(アルファ米、水)を備蓄する取り組みを実施する(自費購入、秦和会で購入斡旋[補助有])。 ※例:アルファ米×5食、カロリーメイト×4箱、500mlペットボトル(5年保存)×3本 約3,000円 ※持出し用リュックは個人準備
	改善効果	実践状況
職場に非常食を備蓄することで、非常食以外の必要な個人装備品等(ヘッドライト、モバイルバッテリー、革手袋等)の備蓄にもつながると考えられる。 職員備蓄の取り組みを推進することにより、職員の防災意識の向上が図られ、本市の防災力向上につながる。		提案内容を既に実践している場合はここにチェックを↓

※写真等の添付可